



ごあいさつ

公益財団法人 民間放送教育協会

会長 吉永 みち子

昭和 42 年に、放送を通じて教育の振興と機会均等に寄与するという志のもと、民間放送教育協会は産声を上げました。当時 23% ほどだった大学進学率は、50 年後には 50% を越えました。その過程で、激しい受験競争は低年齢化し、教育はお金がかかるものになり、その結果、教育格差は広がり昨今は格差の固定化が心配されています。再び、教育の機会均等が極めて危うい状態になっているというのが民教協誕生 59 年後の現状です。



半世紀以上も前に目指した教育環境は達成されないばかりか、複雑に屈折しながらむしろ遠のいているような印象さえ受けます。さらに子どもが最初に様々な情報に接するのが SNS になり、AI の教育現場への導入も規制が追いつかないまま進み、それらが今後どんな影響を及ぼしていくのかもわからない状態です。

一方、放送と通信の融合により放送界も大きな変化に見舞われています。そんな混沌の中だからこそ、私たちは掲げた理念の原点に立ち返り、これまでの延長戦上の発展ではなく、教育とは何なのか、放送を通じて何ができるのかをもう一度真剣に考えなければならないのだと思います。

15 年前の東日本大震災の折、釜石小学校の校歌が話題になりました。ひとりひとりが自分の足で立ち、自分の頭で考え、考えたらしっかり話し、お互いの違いを尊重しながら共に生きるという井上ひさしさんの手になる歌詞は、教育とは何なのかという問いに、かなり明確な示唆を与えてくれているように感じました。

「どうするか」を考えない人に、「どうなるか」は見えないというのは野村克也さんの言葉でした。この厳しい状況に、私たちはどう向き合っていくのかを様々な機会を通じて考えていかなければならない。その中にこそ、私たちは何をなすべきかというこれからの民教協の目指すべき道があるのだと思っています。

CONTENTS

2026 No.63

ごあいさつ

民教協番組紹介

日本のチカラ	2
民教協スペシャル	5

番組選奨



「日本のチカラ」各賞受賞報告	8
文部科学大臣賞	
「 ^{つる} 敦ガチャの仲間たち ～作って回してつながる社会～」福井放送	10
総務大臣賞	
「まきうち夫婦の全力人生 ～山のスーパー繁盛記～」静岡放送	11
民教協会長賞	
「 ^か 海を翔ける希望の波 ～復活！国内唯一 ホーバークラフト～」大分放送	12
中小機構理事長賞	
「 ^{おおしまつむぎ} 結いの手仕事 ～大島紬の未来～」南日本放送	13
JA グループ賞	
「育休・大型連休あります ～山梨発！くだもの生産法人の農業改革～」山梨放送	14
第一交通産業賞	
「いのち育む ～産声を守る助産師たち～」南日本放送	15
奨励賞＜4作品＞	
「ほっこりアツアツ 酒まんじゅう ～大分発！嫁と姑 ドタバタ日記～」大分放送	16
「見えない世界を変える ～視覚障がい者とつくる新たな未来～」西日本放送	16
「げんじいの手作り牧場 ～ヤギと紡ぐ第二の人生～」北日本放送	17
「いっしょに歩こう ～老犬介護の現場から～」秋田放送	17
プロデューサー特別賞	
「教えて！能登デスクさん ～Not デスクな観光案内～」北陸放送	18
「YUNA の青春 ～盲目のシンガー～」長崎放送	18
「日本のチカラ」年間放送リスト（2025 年度）	19

「テレビのチカラ」大会報告

全国大会【大分】	20
北海道・東北・関東・甲信越地区大会【山梨】	21
中部・北陸・関西・中国地区大会【石川】	22
四国・九州・沖縄地区大会【愛媛】	23

民教協の事業

小学校授業支援事業	24
読み聞かせ事業	25

民教協からのお知らせ	26
理事・監事・評議員名簿	27
2025 年度の主な活動	28

◆2年前このページで、民教協加盟局にうごめく愛すべき変人たちを紹介したところ大変な反響がありました。もっと紹介してほしい！うちの局にはもっと変な奴がいる！第2弾はいつ？…そんな熱き要望におこたえし、今回「巨匠」と呼ばれる人たちの素顔を暴くことにいたしました。

◆巨匠というのは実は、とても便利な言葉です。ペーパーのADだったころ、テレビ朝日にはとんでもないPやDがわんさかいました。トップガンのトム・クルーズみたいなグラサンをかけた反社勢力もどきから毎日恫喝されるのです。「おい雪竹、弁当発注どうなってんだ！」「ロケ用ペーカム10本、絶対忘れんなよ！」「…身も心もズタボロのなか、カップヌードルをすすっていたある日のこと。優しい先輩が声をかけてくれました。「巨匠！おつかれさまです！って大きな声で言ってくれば、なんとかなるから…」まさに魔法の言葉でした。言われた本人もまんざらではないようで、少し態度が和らぐのです。最近ではほとんど使う機会がありませんが知っておいて損はありません。皆さんも使ってみてください。

◆民教協は？というところ…崔洋一監督はまさに絵にかいたような本物の巨匠でした。怒るととんでもなく怖いのですが、実は心優しいアニキ。気づかぬうちにマナーも一流…また会いたいですが、森達也さんも本物ですが、小学生みたいなところが…。年に数回、自炊でカレーを作るらしく、いつも失敗して愚痴るのです。「まずいんだよカレーが。ほんとにまずいの。なんでかなあ…」そんなこと、自分で考えてください。

巨匠とは何か



崔 洋一監督 (本物)



森 達也さん (本物)

恐るべき愛しの制作者たち

その②



味噌カツ店のMさん (熱弁時)

(撃沈時)



カステラ島のMさん (熱唱時)



ネコ型ロボットアニメ局のMさん (通常時)

◆では制作者の紹介にうつります。皆さん、様々な賞をとったり映画監督もされていたりと大活躍なのですが、とんでもない一面も持ち合わせています。トップバッターは、味噌カツ店のMさん。先日の懇親会での出来事。大好きなペリカンの話を延々としたあと、撃沈。3分ほど爆睡したあと突如、もごもごと主張し始めます。「ゴモンシュサマが来るんですよ…」「なんの話ですか?」「だ・か・らあ、ゴモンシュサマが来るって話!」あつげにとられる私たちをよそに、妙な怒りとともにヒートアップしていきます。「ヒガシベツインにゴモンシュサマが来るの!キョカドリが大変なよ!」…3分ほど熱弁してまた撃沈。まるでレム睡眠とノンレム睡眠の検証実験。真相は闇の中ですが、会社の荒波に屈せず、健康第一で頑張ってください。

◆続いて、カステラ島のMさん。ふだんはおっとり、小動物のような方です。いつも「안녕하세요 (アンニョンハセヨ/こんにちは)」と電話をかけるのですが「네 (ネー/はい)」しか言いません。「요즘 어때? (ヨジュム オッテ?/最近どう?)」と聞いても「네 (ネー/はい)」しか言いません。韓国語を勉強しているはずなのに困ったもんです。ある日のこと、長時間に渡るMAでヘロヘロになったあとMさん行きつけのスナックへ行くことに。地元で有名だというマダムの勢いに押され、カラオケ大会がスタート。私は大の苦手なので存在を消し、諜報活動へと移行します。Mさんはマイク離さずナースへ豹変、ヘンテコな歌を淡々と歌い始めるではありませんか。ビートたけしの「浅草キッド」が十八番のようで、自己陶醉スバイラルへ。音程がイマイチなのもあいまって、不気味な世界が展開されます。それはそれでいいのですが、ちゃんと韓国語勉強してください。

◆そして、猫型ロボットアニメで有名な局に所属されているMさん。私が出会ったなかで最強のぶっとびさんかもしれません。MAの際、大御所の音効さんとバチバチやりあうなんて朝飯前、数々の大物にもひるまず突撃していくパワーには、さすががしささを感じられます。いつも怒涛の如くしゃべり続け隙を与えないため、こちらとしては「さすが! 知らなかった! すごい! センスある! そうなんだ!」…いわゆる円滑コミュニケーションの「さしすせそ」で返すしかありません。あるときサシで飲んだ帰り、深夜にもかかわらず「ワタシ、歩いて帰ります!」とスタコラサッサ、闇へと消えていったのです。おそらく2時間以上かかるのに徒歩? この無限のスタミナは何? 今度焼肉おごるので「生きるとは何か」…ぜひ教えてください。

◆ちなみに、前回シュールなバスローブ姿が大好評だった野沢菜果の巨匠Tさん。今回さらに衝撃的な写真を掲載したかったのですが事前承諾の電話をしたところ、丁寧に断られました。うむ…。

◆そんなこんなで、紹介しきれないのが残念ですが、こうした巨匠ならぬ虚匠クラスの制作者がいるからこそ、幾層にも重なる人間絵巻が紡ぎ出されているわけです。「日本のチカラ」もあつという間に12年目。皆さまの心に深く残る作品を届けできるよう、制作者一同邁進してまいります。応援のほどよろしくお願いいたします。

総合プロデューサー 雪竹 弘一

日本のチカラ

NIPPON NO CHIKARA

2026年度 ラインナップ ※5月時点でのラインナップです。変更の可能性がございます。

放送回	東京地区放送日	サブタイトル	制作局
463	4月18日(土)	令和の紙芝居屋さん ～自分らしく生きる道～	テレビ朝日
464	4月25日(土)	タンブリング ～マイナー競技で世界へ～	琉球放送
465	5月2日(土)	俺らがつなぐヘルメット ～県立高校で学ぶ南部もぐり～	IBC 岩手放送
466	5月9日(土)	みんなにここにこ ～自閉症のてっちゃん家族～	山形放送
467	5月16日(土)	つなぐ光 ～200球から始まった軌跡～	山梨放送
468	5月23日(土)	笑顔、咲かせる ～癒やしを届けるセラピスト～	大分放送
469	5月30日(土)	七転八起のみそ人生	新潟放送
470	6月6日(土)	ヤギとチーズと冒険と ～世界が認める東京酪農家～	テレビ朝日
471	6月13日(土)	再び教壇へ ～元教師が「命の授業」で次世代に伝えたいこと～ (仮)	信越放送
472	6月20日(土)	こそだ 孤育てさせない！お母さんの味方 ～正解よりもあなたらしさを～ (仮)	山陰放送
473	6月27日(土)	命吹きこむデザイナー ～彩りと想いを紡ぐ、リメイク物語～ (仮)	高知放送

番組の詳しいラインナップや各局の放送時間は

民教協



#463



令和の紙芝居屋さん ～自分らしく生きる道～

紙芝居の ベンベン さん(42)。スマホで動画を見るのが当たり前の今、オリジナルの紙芝居一本で勝負。伝統的技法を大事にしながらもその枠を飛び越え、独自の仕掛けや伝えたい想いを紙芝居に託し、今、子どもから大人まで魅了しています。

ベンベン さんが紙芝居の力を信じるのは、幼少期、様々な悩みを抱えていた自分が紙芝居に救われたから。一枚の絵、一つのセリフを信じて熱演する姿を通し、“自分らしく生きる”ことの大切さを描きます。

テレビ朝日 石井 裕里恵 (びびあっぷ)

#464



タンブリング ～マイナー競技で世界へ～

体操とトランポリンの要素が入った競技「タンブリング」は、国内の競技人口わずか数百人のマイナー競技。「タンブリングの代表は“へぼい”」。そんな心ない言葉を跳ね返そうと父・健一さんと沖縄初の教室を開業したのは、19歳から日本代表に選出される又吉健斗さん(25)です。

健斗さんのもとにやってきた、ある挫折を抱えた親友の思いと、体操が嫌いだったという母・ゆきのさんの心情も描きながら、マイナー競技で世界に挑む日々を追いました。

琉球放送 下地 麗子 (報道部)

#465



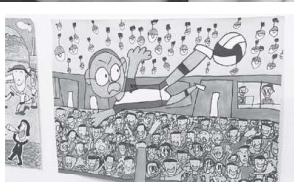
俺らがつなぐヘルメット ～県立高校で学ぶ南部もぐり～

「仲間を大事にできるダイバーを育てたい」と話すのは岩手県立種市高校の教員・大向光さん。約130年前地域に伝わった「ヘルメット式潜水」の技術を教え国内外で活躍する潜wasshiを育成しています。昔と変わらない潜水技術は時代の流れで需要は減ってきていますが、今もなお受け継ぐ高校生がいます。

海辺の町の小さな高校でヘルメットを受け継いでいく人たちの奮闘を描きます。

IBC岩手放送 亀田 真太郎（報道制作部）

#466



みんなにこにこ ～自閉症のてっちゃん家族～

みんなから「てっちゃん」と呼ばれている長濱哲哉さん（21）。^{ながはまてつや}重度の自閉症で、気持ちを言葉で伝えることが苦手です。10歳の時、ある絵を描き、母親と気持ちが通じたことをきっかけにペンを走らせることに没頭するようになりました。絵と出会う前、母親はてっちゃんの気持ちを理解できず、苦労の日々が続きました。

家族にとって絵は、てっちゃんの思いを理解する大切なコミュニケーションの手段。描くことでつながるてっちゃんと家族の物語です。

山形放送 岩崎 謙太郎（制作部）

#467



つなぐ光 ～200球から始まった軌跡～

過疎が進む山間の地域で、ひときわ輝くイルミネーションがあります。光を灯して25年。200球から始まった電飾は、今では15万球以上。飾り付けは住民総出で行います。地域みんなで楽しんで、笑い声が響く場所。人とつながる温かさ、地域の輪がここには残っています。

25年の歴史の中には、亡くなった仲間、コロナ禍での存続危機、リーダーの引退もありました。苦楽を共にし、つないできた光。その軌跡を描きます。

山梨放送 植松 楓（コンテンツ制作部）

#468



笑顔、咲かせる ～癒やしを届けるセラピスト～

介護が必要な高齢者や障がいのある人にメイクやネイル、エステを通して、癒やしを届けるセラピストがいます。鏡を見た瞬間にこぼれる笑顔や、取り戻される活力は周囲をも明るく照らします。

活動に取り組む長尾夏音さんは、利用者の外見だけでなく、暮らしの悩みにも耳を傾け、一歩踏み込んだかたちで、一人ひとりと深く向き合ってきました。彼女を動かす原点とは何か。現場から広がる「笑顔の輪」と、利用者の心まで彩る彼女の活動を追います。

大分放送 田中 智基（コンテンツ部）



最優秀企画賞は

「ご縁と戦犯（仮）」に決定

「民教協スペシャル」は、公益財団法人 民間放送教育協会に加盟している全国のテレビ局の制作者が年に一回、渾身の企画を提出し、厳正な審査を経て最優秀企画賞に選ばれた企画を放送するものです。1986 年以來 40 回の放送を数え、これまで数々の賞を受賞しています。

第 41 回の企画募集（2027 年 2 月放送予定）では加盟 17 局から 22 企画の応募があり、映画監督・作家の森達也さん、ノンフィクション作家の星野博美さん、ドキュメンタリー監督の大島新さん 3 名の審査委員による厳正な企画審査が行われました。

一次審査を通過したのは以下の 5 作品です

となりに暮らす外国人（仮）	信越放送	中村育子
虐殺のレリーフ - スパイと見なされて -（仮）	テレビ朝日	松原文枝
ご縁と戦犯（仮）	メ〜テレ	村瀬史憲 内田悠雅
れんげ草の記憶 ～ハンセン病家族たちの慟哭～（仮）	南日本放送	北原由美
ウルトラマン沖縄に死す - 光の国へ帰った金城哲夫 -（仮）	琉球放送	山里孫存 (GODOM 沖縄)

この 5 作品について、約 5 分のプレゼン VTR とブラッシュアップされた企画書をもとに、2026 年 3 月 27 日、二次審査が行われました。森達也さん、星野博美さん、大島新さん 3 名との真剣な質疑応答の結果、メ〜テレ 村瀬史憲さん・内田悠雅さんの、「ご縁と戦犯（仮）」が最優秀企画賞に選ばれました。

審査後の講評では、森達也さんから「リサーチの広がりと深さが圧倒的。調べるほど新しい事実が出てくるダイナミズムが素晴らしい。テーマも重要で今後も続報が期待できる」、星野博美さんから「個人史を辿る中で戦争の実像が明らかになるスリリングさがいい」、大島新さんから「一次審査の時点から突出していた。プレゼンで懸念点が解消され、完成度が高い」というコメントをいただきました。

今回の企画では、自身のルーツに横たわる戦争と向き合うことになった僧侶を通して「曾祖父の戦犯としての罪」「現代社会を分かち善悪の深層」を描き出します。





第41回 民教協スペシャル 最優秀企画賞

2027年2月放送予定

ご縁と戦犯（仮）

昨年の6月、梅雨空のもと加藤大樹さん（40）とともに愛知県庁を訪れた。加藤さんは真宗大谷派の僧侶。妻と4人の子がいる。戦後80年の機会に曾祖父の「戦死」を調べることにした。祖母から「終戦の翌年、南の島で亡くなった」と聞かされ気になっていた。なぜ終戦後も帰国せず、南方で亡くなったのか。加藤さんの中に何か「引っ掛かるもの」があった。

元陸軍兵士の場合、本人の本籍地に軍人としての履歴が保管されている場合がある。いわば兵士一人ひとりに関する唯一の公的記録だ。愛知県は終戦直後に国の命令で軍関係の資料を大量に焼却したが、加藤さんの曾祖父は、所属した部隊や参加した作戦の履歴、戦死関連の資料が残されていた。資料を閲覧した加藤さんは、曾祖父の死因が「自決」だったことを初めて知る。そして死亡の経緯が書かれているであろう部分は、県の判断で隠されていた。隠す理由を県職員に尋ねると「本人の尊厳に関わるから」という。死んだ本人以外には見せられない、とも。そんな馬鹿な、である。

本企画の取材過程で、意表を突かれる展開に何度も出くわした。それは偶然ではなく、曾祖父の軍歴が加害性を孕んでいるからではないか。「引っ掛かるもの」を探る加藤さんの試みに我々に関わるようになったのも、ご縁。親鸞によれば、人間はめぐり合った縁しだいで、人を殺すし、救いもする。この企画で繋がった縁が何を描き出すのか、身震いがしている。

メ〜テレ 村瀬 史憲（プロデューサー）

第40回 民教協スペシャル

2026年2月7日(土)〜11日(祝)放送

あなたを忘れない

朝鮮からの満州移民

支



「父が満州国軍の将校でとても他人事とは思えません」

「ウクライナやガザ地区の惨状に心を痛めるのに、なぜ日本に虐げられた人たちへの想像力を持たないのか」日本の侵略と植民地支配の実像を、被害を受けた側の声と史料でたどる番組は、なかなか理解されないのではないかと不安もありましたが、放送後は幅広い年代から様々な声が寄せられ、安堵とともに励まされる思いでした。「まだ話せないことがたくさんあります。今回の番組が胸をかき乱しています」と感想をくれた在日コリアンもいました。

主人公の朴仁哲（ボク・ジンテツ）さんは、中国のハルビン出身で移民3世にあたります。自らのアイデンティティの問題を研究テーマに据え、中国に暮らす移民1世を訪ねて証言を記録していました。取材の依頼をしたのは3年ほど前。当初は自身のルーツを明かして全国放送することにためらいがあると話していました。日本で排外主義的な動きが激しさを増すなか、特に家族への誹謗中傷を心配してのことでした。過去の戦争の歴史でありながら、現代社会の底流にโดยみ続けるテーマであることを突きつけられました。

中国ロケは準備段階から神経をすり減らす日々。延辺朝鮮族自治州に住む写真家の李光平（リ・グアンピョン）さんとは何度も会話を重ねるなかで協力を得て、なんとか中国での取材にこぎつけました。高市首相の台湾有事をめぐる国会答弁の10日ほど前で、発言の後では取材ができたのかどうか分かります。李さんも朴さんも、今の日中関係に心を痛めています。お互いのことを知らなければ、恐怖心や偏見が生まれ、対立が深まるばかりです。この番組がそうした過ちに陥らないための一助に、また、日中友好への道標になっていれど願っています。

信越放送 手塚 孝典（情報センター制作部）

日本のチカラ

NIPPON NO CHIKARA

2025年度 番組選奨

2026年3月5日、2025年度「日本のチカラ」番組選奨の選考会議が行われ、12作品が選出されました。

選考にあたっては「多くの人に見てもらえる生涯学習番組」の目標に沿って「日々の暮らし、地域ならではのリアル」がどれだけ丹念に描かれていたか、未来への可能性を感じ取れたか、番組として純粋に楽しめたか、といった点も参考とされました。



文部科学大臣賞

生涯学習も含め、もっとも価値があると思われる番組

つる 敦ガチャの仲間たち ～作って回してつながる社会～

制作：福井放送

選出理由

制度改革の不測の事態に直面した際、レジリエンスの観点から持続可能性を実現した取り組みはほかの地域でも大いに参考となる。利用者の個性・特性に合わせた就労支援の日常、寺の住職でもある高崎さんの確固たる思い、聴覚障がいがある北村さんと家族のリアルが丁寧に描かれ、敦ガチャの無限の可能性とともに、生きるうえでのさまざまなヒントを提示した秀作。



中小機構理事長賞

地域中小企業の活力を魅力的に紹介した優秀な番組

結いの手仕事 おしまつむぎ ～大島紬の未来～

制作：南日本放送

選出理由

伝統工芸の継承と進化、それに挑む一人の職人の実直で真摯な姿勢が印象的であった。伝統技術をいかし、現在の生活に馴染む作品を作るアイデア、それを実現する技術、可能性は無限に広がると信じて取り組む真剣さが、映像から伝わってきた。大島紬作品の緻密さ、映像の美しさも圧巻であった。寡黙でありながら熱き魂を持った職人の表情も見事に捉えていた。



総務大臣賞

地方創生に寄与する番組

まきうち夫婦の全力人生 ～山のスーパー繁盛記～

制作：静岡放送

選出理由

一軒のスーパーが、単なる日々の買い物場であるだけでなく、地域の方々に幸せを与え、地域の活力の拠点となり、買い物が不自由な方へのサポートも行うという、まさに地方創生の好事例。中山間地域での新鮮な魚の提供、空き家への新規移住者誘致、マグロ解体ショーによる新たなにぎわい創出など、住や食から地方活性をうみだしており、希望の光を感じさせられた。



JAグループ賞

持続可能な食と地域作りに寄与する番組

育休・大型連休あります ～山梨発！くだもの生産法人の農業改革～

制作：山梨放送

選出理由

これまでの農業の常識を覆す育休や大型連休といった労働環境を実現。社長以外、全員転職組であり、研修生や外国人技能実習生も積極的に受け入れている。「社員とは、私の右腕、左腕、両足です。大切な大切な大切な社員です」という社長の言葉が、人柄や会社の雰囲気をシンボライズしており、この言葉を引き出したことで番組がしまった。日々のコミュニケーションも好印象。



民教協会賞

テレビ番組としての評価の高い番組

か 海を翔ける希望の波 ～復活！国内唯一 ホーバークラフト～

制作：大分放送

選出理由

人口減少や地方交通の衰退のなか、いかに持続可能なインフラを構築していくべきかという社会的メッセージを提示しており、未来への希望を感じさせる。職場環境のよさ、地元を盛り上げたいという感情の共有、若者の挑戦と成長、ホーバークラフトの存在、「幼いころホーバーに乗った」という記憶の共有…これらがバランスよく散りばめられ、すがすがしい気持ちになれる力作であった。

奨励賞（4作品）

価値のある番組、また今後に期待したい番組

ほっこりアツアツ 酒まんじゅう ～大分発！嫁と姑 ドタバタ日記～

制作：大分放送

選出理由

伝統の味を継承する親方と弟子という関係性ではなく、姑と嫁であるからこそ、梢さんは考えをバンバン言い、鈴香さんも耳を傾ける。「守る」ことも大事だが、「誰かが続ける」ことも大事という考えがすばらしい。家族のありようも、ほっこりと幸福感に包まれる番組。

見えない世界を変える ～視覚障がい者をつくる新たな未来～

制作：西日本放送

選出理由

取り組んでいる事業内容が大きな市場でありながら、大手企業に負けないスピードと手法で取り組んでいる点がすばらしい。社会の階層化が進む中で、スタートアップ企業の新しいやり方を実践している意義も大きい。AIは今後も無数の場面で使われるが、良い使い方の例としても貴重だ。

げんじいの手作り牧場 ～ヤギと紡ぐ第二の人生～

制作：北日本放送

選出理由

静かな情熱と、ヤギを通じた地域コミュニティ再生が描かれ、感銘を受ける。また息子もSNSを通じた広報を手伝い、DNAを継承している。ヤギのファンが古民家を活用した宿泊、カフェ体験など関係人口創出に貢献している姿にも希望を感じる。げんじいの朗らかな表情も見事に捉えていた。

いっしょに歩こう ～老犬介護の現場から～

制作：秋田放送

選出理由

ペットと暮らすことの意味、命との向き合い方、家族としてのあり方など、老犬介護士の取り組みは、多くの視聴者への啓蒙となった。空前のペットブームのなか、動物の社会福祉が迫っているとはいえ、命の尊さを伝える一つの提言となっていた点も評価に値する。

評価委員

奥山 睦（静岡大学大学院客員教授）

鈴木 美伸（上智大学非常勤講師）

星野 博美（ノンフィクション作家）



第一交通産業賞

人の未来を見据え、地域発展に寄与する優秀な番組

いのち育む ～産声を守る助産師たち～

制作：南日本放送

選出理由

助産師の責任感、赤字の現状や課題に向き合う姿、誕生と闘病の対比も描かれており、少子高齢化が進む世の中で、命が生まれることの奇跡についてあらためて考えさせられた。助産師の存在が地域の安心を支えており、未来へつないでいく強い思いも感じ取ることができた。喜界島の美しい自然のなか、ここで生きていくという人間の力、希望も描かれ心に残る作品となった。

プロデューサー特別賞（2作品）

人の営みの機微を捉えた、心に残る優れた番組

教えて！能登デスクさん ～Notデスクな観光案内～

制作：北陸放送

選出理由

度重なる災害のなか懸命に復興の道を歩む能登のリアルに加え「今行ける能登」を発信し続ける主人公の葛藤も丹念に描いており、観光復活への希望の光を感じとることができた。また「塩津かがり火恋祭り」の幻想的で優美な映像はすばらしく、心に深く刻まれた。地元局ならではの視点と機動力で全国へ発信した功績は大きい。

YUNAの青春 ～盲目のシンガー～

制作：長崎放送

選出理由

YUNAさんのピアノの音色には、強い意志と生きていく覚悟が宿っている。その根底に何があるのか…。見守る家族や支える人たちとの日常が淡々と描かれ、ディレクターの優しい眼差しが随所に感じられた。撮影・編集・構成・ナレーションすべてが秀逸。障がい者作品は感動の強要になりがちだが、本作は真逆。視聴者からの反響も大きかった。



文部科学大臣賞

制作

福井放送

制作部

酒井 拓海



つる 敦ガチャの仲間たち ～作って回してつながる社会～

今、大ブームのカプセルトイ。この小さなおもちゃを作っているのはどんな人たちなんだろう？そんな思いから始まった取材は、わずか4センチのカプセルトイが持つ大きな可能性を教えてくださいました。

福井県敦賀市のご当地カプセルトイ「敦ガチャ」。県民悲願の北陸新幹線福井開業を盛り上げるために企画されたお土産です。敦ガチャを作るのは敦賀駅前にある就労支援施設「ふらっぶ」の皆さん。デザインを担当するスタッフの高崎かおりさんが、作る人たちの特性や得意を生かした仕事を割り振っています。

私が驚いたのは高崎さんの「ほどよく引く」サポート。細かい作業が続く敦ガチャの製作に丁寧な手助けがあると思いきや、黙って見守るスタンス。障がいがある利用者たちがいつか自立し幸せになっていくために、自分で考え自ら動く自主性を育てようとしていました。

ふらっぶでは去年、手打ちそば店をオープンさせ、にぎわいを見せています。1人では無理でもそれぞれの個性を結集させることで地域に働く場所ができました。「敦ガチャ」も「そば」も人の手で生み出すもの。やっぱり手で作られた本物には強力なパワーがあると実感しています。

この番組をご覧いただいた人たちは誰もが「敦ガチャの仲間たち」。2年間取材した思いをタイトルに込めました。番組をきっかけにつながっていく共生の輪で、社会にある障がいを無くすことができればこんなにうれしいことはありません。



総務大臣賞



制作

静岡放送

報道部

野田 葉里

まきうち夫婦の全力人生 ～山のスーパー繁盛記～

「町の周りに山がある」というより、「山の中に町がある」。こんな表現がしっくりくるのが静岡県浜松市の水窪町。過疎化と高齢化が著しい典型的な限界集落です。車から降り町を歩いて出会ったのが「スーパーまきうち」を全力営業する牧内夫婦。町民の「食（＝命）」はもちろん、ユニークなイベントを開いて「心」も満たしていました。

当初の私は、「小さくなり続ける町を何とかしたい」という思いが2人の原動力なのでは？と予想していましたが、取材を進めるうち、そうした責任感や使命感とは違う「純粋にこの町と人を愛しみ楽しんで生きる気持ち」なのだ気付きました。

私も山奥の田舎出身です。選択肢の少なさや建物が静かに消える様を見ていられず地元を捨てる気持ちで県外へ出ました。でも、どんな小さな町や村にも根を張り生きている人がいます。私が牧内夫婦を見つけて「もう一度自分の地元と向き合ってみよう」と思ったように、この番組の視聴者にも「ふるさと」や「大切な場所」を思い出してほしくて制作しました。また、答えはないことはわかったうえで、この番組が地方の行政や福祉を見直すきっかけになったら幸いです。

ふるさと・水窪町を慈しみはつらつと生きる夫婦のチカラが、町を、地方を、どんなふうに変えていくのか。放送後、まきうちには『自分の生まれ故郷に何ができるか真剣に考えることにしました』というメールや声がいくつも届いたそうです。



民教協会長賞



制作

大分放送

コンテンツ部

藤澤 真由美

か 海を翔ける希望の波 ～復活！国内唯一 ホーバークラフト～

海上を飛ぶように走り、陸地も滑らかに移動する水陸両用船「ホーバークラフト」。一度は国内から姿を消した夢のような乗り物が、交通の利便性と観光浮揚を目的に、16年ぶりに大分県で復活を果たしました。ホーバークラフトの営業運航は、世界中でイギリス（ワイト島⇄ポーツマス）と大分県の2か所だけ。番組では運航を担当する大分第一ホーバードライブ（株）の操縦士レイヤさんを中心に、大分空港へ大分市街地間の定期運航開始までの日々を追いました。「未知の乗り物の操縦を、いちから習得するのは難しかった」と語るレイヤさん。いつも笑顔のレイヤさんが初便運航後、小田典史代表と抱き合い涙する姿に、それまでの苦労と安堵がうかがえました。

放送後、福島、群馬、奈良など、全国各地から乗船客が訪れているそうです。また、整備士の篠田昭吾さんは番組を見たという子どもから直筆の手紙を手渡されたそうです。そこには「ホーバークラフトのせいびをいつもありがとうございます。とてもかっこいいです。さっきばくがホーバークラフトにのったとき、てをふってくれてありがとう。とつてもうれしかったよ。おしごとがんばってね」と書かれてあり、思わず涙がこぼれたそうです。安全運航を支える整備士のみなさんの熱意を伝えることができて、本当によかったと思いました。

ホーバークラフトは今後、増便予定です。大分県へお越しの際は、ぜひ乗船してみてください。



中小機構理事長賞

制作

南日本放送

映像メディア部長

布袋 貴代江



結いの手仕事

おおしまつむぎ
～大島紬の未来～

凛と響く手織り機の音。たびたび手を止めては、一本の糸に向ける鋭い眼差し。「一反（着物一枚分）を織り上げるのに半年から一年」…聞いて驚きました。世界一精緻な織物といわれる大島紬。およそ40もの工程をつなぐのは、人の手です。

以前は手描きだった図案をパソコンで描く75歳の職人、上村さんとの出会いがありました。この道50年、無口で眼光鋭い、いかにも堅物…に見えたのですが、その奥には、時代の変化を受け止め、新たな発想を形にする柔軟さと、手仕事で生きてきた気概が静かにみなぎっていました。着物離れや後継者不足…、伝統工芸を取り巻く環境は明るい面だけではありません。着物としての価値をつないできた大島紬を、より身近に、暮らしを彩る存在へ…斬新なデザインの小物やネクタイ、ストールを提案。紬の糸をカシミヤと織り上げる革新的なアイデアマン。後継者不足がいわゆる中、工房には新たな職人が加わりました。糸一本へのこだわりを伝える日々です。

機織りを結婚式に取り入れるなど、さまざまな形で大島紬の発信を目指す「奄美の里」。伝統工芸のこれからをどうつないでいくか…。多くを語らぬ上村さんは、ことあるごとにノートを取り出しサラサラとペンを走らせます。「（アイデアは）どこかに転がっている」。根っからの職人、確かな手仕事のこれからを、見続けていきたいです。



J A グループ賞



制作

山梨放送

(株)ファーストビジョン
制作部

小林 邦照

育休・大型連休あります
～山梨発！くだもの生産法人の農業改革～

「農業だからしょうがない：は、うそ」社長の次男翼さんにモットーを聞いた時、今回の番組の「核」をもらった気がしました。

日本有数の果樹地帯、山梨県南アルプス市で桃やブドウ、柿を生産する農業生産法人M・A・C・オーチャード。社長の飯野公一さん（66）以外の従業員17人は、元幼稚園教諭や元消防士などの転職組。だからこそ、皆さんは従来の農業の概念にとらわれません。育休や大型連休の取得、徹底した効率化や最新技術を導入し、東京ドーム約5個分の耕作放棄地を借り受けて、果樹では不可能とされる大規模経営を可能にしました。

今回オーチャードの毎日をちぎり絵のように並べてみると、見えてきたのは「ワクワクする笑顔の絶えない農業」。その中心にいる飯野社長は、真つすぐで器の大きな人でした。家族や従業員の声に耳を傾ける柔軟性、時に二度寝で遅刻したり、繁忙期でも巨人戦を優先したり、その「おおらかさ」が、自由に意見を言える明るい社風を作っていました。従業員を「自分の両腕、両足」と語る飯野社長。その深い信頼と愛こそが、「農業だからしょうがない」を改革する土壌であり、力なのだと感じました。

放送後、全国から届いた研修・見学の問い合わせや手紙、同業者から「がんばれ」とお米の差し入れなどは、オーチャードの挑戦が多くの人々の心を動かした証拠だと思っています。目標収穫量を達成した瞬間の皆さんの笑顔が、課題に向き合うすべての方へのエールとなれば幸いです。



第一交通産業賞

制作

南日本放送

映像メディア部

北原 由美



いのち育む ～産声を守る助産師たち～

鹿児島中央助産院5代目の院長・北村愛さん(54)が心がけているのが「待つお産」。妊婦が自分の力で産むことを大切にし、そのために体を作ったりメンタルを整えたり、準備に時間をかけます。番組は、少子化や産科の集約などお産の現場を取り巻く状況が厳しくなる中、産声を守る助産師たちの取り組みを追ったものです。

気がつけば10年近くカメラを回していました。取材を続ける中で感じたのは、助産院は女性たちの希望や葛藤が詰まっている場所だということでした。助産院を選ぶ妊婦の理由は様々です。病院でのお産が孤独だった、家族とともにその瞬間を迎えたい、夫の転勤で身寄りのない土地でのお産が不安…。すぎる思いで助産院を訪ねる妊婦もいます。そんな女性たちに伴走するのが助産師です。健診は毎回1時間。妊婦の不安や悩みに耳を傾け、決して孤独にしません。北村さんは、高校を中退した10代のシングルマザーにも寄り添います。「誰からも怒られずに赤ちゃんのことだけを考える時間を作ってほしいから」。

北村さんがよく口にする言葉があります。「子育ては社会の根っこ」。番組がその言葉の意味を考えるきっかけになることを願い、制作にあたりました。10年近くに渡り、いのちが誕生する場面に立ち会うことを許してくださった助産院の皆さま、そして妊産婦やご家族の皆様に感謝いたします。

奨励賞



ほっこりアツアツ 酒まんじゅう

～大分発！嫁と姑 ドタバタ日記～

大分県豊後大野市清川町。道の駅で不動の人気を誇る伝統の味「酒まんじゅう」は、事業継承の転換期にあります。「勘と経験」がすべてと豪語する姑・和田鈴香さん（73）に対し、長男の嫁・梢さん（43）は「効率的なレシピ化」を主張。新旧がぶつかり合う「継承バトル」が勃発しました。

梢さんは日々、姑の作業を手伝いながら、密かに目分量を計測しレシピ化を研究していました。その成果は、名人・鈴香さんも納得の出来栄でした。引退をちらつかせていた鈴香さんでしたが、嫁の腕に刺激を受け「90歳まで現役！」と前言を撤回。筋書きのない展開の中、家族の絆と技の継承に希望が詰まった撮影の連続でした。

放送後、伝統の味を求めて多くのファンが清川を訪れています。今年4月3日、鈴香さんは74歳の誕生日を迎えます。番組後半では、近所の桜並木の下で開かれる家族総出の祝いの会を紹介しました。今年もきつと、笑顔あふれる時間を過ごすことでしょう。

制作

コンテンツ部担当部長

北里 邦寿

大分放送

奨励賞

見えない世界を変える
～視覚障がい者をつくる新たな未来～

2017年、「目が見えないのは不便だけで、不幸ではない」という全盲の少女の言葉に心を動かされた主人公・中村猛さんが始めた環境認識支援グラスの開発。グラスの名は「SYNCREO（シンクレオ）」。これはカメラや赤外線照射装置で障害物との距離を測り、視覚に障がいのある方に音や振動で伝えることで、安全な移動をサポートするものです。

当事者の方と一緒に取り組んでいるこの開発は、生成AIと連携した進化版も登場し、対話を通じて周囲の状況をより深く理解できるようになりました。見えない世界を少しでも安心で豊かなものにしたい——そんな思いからこの取り組みは続けられています。

放送後に行われた大阪・関西万博の展示会でも、多くの笑顔や感動、希望が生まれたそうです。一方で、番組で取材した方の中には、視覚障がいが進行している方もいらっしゃいます。

ことし中にはテスト版の提供が予定されるなか、早く不便が解消される未来が来ることを願っています。

制作

香川報道制作部

松村 文彦

西日本放送

奨励賞

制作

北日本放送

報道制作局 真岩 幸大



げんじいの手作り牧場 ～ヤギと紡ぐ第二の人生～

富山県氷見市。全国的には寒ブリの町として有名ですが、海から少し離れた山間には知る人ぞ知る癒やしスポットがあります。それが「げんじいの吉がけ牧場」。もともと板金工場の社長だった「げんじい」こと村江元三さん（80）が、社長を引退した後、生まれ故郷の氷見市吉懸に作った手作りのヤギ牧場です。「お前はヤギの乳で育った」という母の言葉がきっかけで、第二の人生をヤギに捧げることに決めたげんじい。深いヤギへの愛情はやがて家族やボランティアの方々を動かかし、やがて牧場には多くの人々が集まるようになりました。

「錆びれていく故郷に活気が出てきた喜びは言葉に表せない」とげんじいは語ります。

人生100年時代。ライフスタイルが多様化する現代社会において、セカンドライフは関心が高いテーマだと思えます。心から幸せだと思える生き方とは何なのか？ヤギに没頭するげんじいの姿はその答えを考えるための大きなヒントになるはずです。

奨励賞

制作

秋田放送

報道制作部 齊藤 弥



いっしょに歩こう ～老犬介護の現場から～

病気で後ろ脚のマヒが進む高齢の犬、のんちゃん。番組取材中も症状が進行して、後ろ脚をほとんど動かさなくなり、毎日はいずれのように過ごすようになりました。老犬介護士のアドバイスのもと、初めて車いすに乗った日…。ムテキの小学生のように駆け回る姿を見て、胸が熱くなりました。

犬も人間も、いつかは衰える。だからどんな状況でも今を精いっぱい生きよう。そんなメッセージを込めて制作した番組です。犬に関心がない人にも響く番組にしたい。そんな思いから、主人公で老犬介護士の藤原温子さんはもちろん、飼い主の葛藤やリアルな日常も手厚く描きました。

ペットの介護に直面しながら、家庭内だけで抱え込んでいるケースが多いといいます。放送後、老犬介護士の藤原さんには、介護相談がたくさん寄せられています。1匹でも多くのペット、1人でも多くの飼い主の笑顔に貢献できたなら、ディレクターとしてこれ以上の幸せはありません。

プロデューサー 特別賞



教えて！能登デスクさん

～Notデスクな観光案内～

金沢駅構内の観光案内所に勤務する中山智恵子さんは「能登デスクさん」の愛称で知られ、震災から復興を目指す能登の魅力を発信し続けています。彼女の魅力は、案内所の常識を覆す圧倒的な行動力にあります。デスクに留まるのではなく、自ら車を走らせ毎週往復5時間をかけ能登へ。パンフレットの情報ではなく、現場で感じた「生の声」を届けるのが彼女のスタイルです。

「能登が大好き」と語る明るい笑顔と、型破りな情熱。デスクを飛び出し現場を愛する中山さんを通じ、「今、この瞬間の能登」の姿を届けたいと取材を続けてきました。

関東で放送された当日、番組を見た観光客が金沢駅の案内所にいる中山さんを訪ねて激励の言葉をかけてくれたといいます。そのフットワークの軽さに驚きつつ、番組が誰かの心に訴え、行動につながったという事実に感動し、制作者にとってこれ以上ない励みとなりました。

制作

テレビ制作部

亀山 貴洋

北陸放送

プロデューサー 特別賞



YUNAの青春

～盲目のシンガー～

♪「私が生まれてきた訳は父と母とに出会うため」
歌い始めると、ざわめきがおさまる…。盲目のシンガーYUNA、その歌声は聴く者の心を揺らす不思議な力があります。出逢ったころは、小学生。衝撃的だったのは、一輪車を軽々と乗りこなす姿です。こちらはドキドキ、本人は「怖くないもん」。

当時から負けず嫌いで利発な少女。2025年春、15歳のYUNAさんは、見えないことを「人と違う世界が見える」と表現するさらに感性豊かな少女に。冒頭の歌詞は、さだまさしさんの『いのちの理由』の一節です。反抗期のYUNAさんが、裏腹な態度をとってしまう母に、感謝の気持ちを伝える為に選んだ曲。この曲がつかないでくれたからか、ふたりは今、羨ましいほど自然体の親子です。

「夢を見つけるのが夢」と語るYUNAの青春。機会があればYUNAさんの生の歌声を聴いていただきたい…。それも『いのちの理由』を！この歌はこんなふうに締めくくられます。

♪「私が生まれてきた訳は愛しいあなたを護るため」

制作

(株)NBCソシア
テレビ部部長

宮路 りか

長崎放送

#	東京地区放送日	タイトル	制作局
421	4月19日(土)	マリさんのいぶりがつこ ～大好きな味を いつまでも～	秋田放送
422	4月26日(土)	しょうゆバカセ物語 ～仲間とつかんだ日本一～	福島テレビ
423	5月 3日(土)	これが私の“チンドン人生”	メ～テレ
424	5月10日(土)	島が誇るメロディー ～沖縄音楽の母 金井喜久子～	琉球放送
425	5月17日(土)	ママの夢は金メダル ～音のない世界に生きて～	テレビ朝日
426	5月24日(土)	忘れてもいいんだよ ～妻と歩む おだやかな日々～	山形放送
427	5月31日(土)	明日を変える！車いす“お着替え”職人たち	テレビ朝日
428	6月 7日(土)	鬼になる ～太鼓で沸く 島の春～	新潟放送
429	6月14日(土)	竹取おじさんの宝さがし ～地方課題の逆転劇～	信越放送
430	6月21日(土)	“がんサバイバー”の私だからできること ～笑いましょう！ひとりじゃないよ～	山形放送
431	6月28日(土)	ほっこりアツアツ 酒まんじゅう ～大分発！嫁と姑 ドタバタ日記～	大分放送
432	7月 5日(土)	ばあちゃんたちのハッピービジネス ～山村発！知恵と笑顔と輝く未来～	RKB 毎日放送
433	7月12日(土)	青森りんご革命 ～搾りかすをレザーにした男～	青森放送
434	7月19日(土)	世界に届け！鳥取の歌声 ～リトルフェニックス 65年の軌跡～	山陰放送
435	7月26日(土)	イヌワシよ ふたたび ～南三陸の森から～	東北放送
436	8月 2日(土)	盛岡ラーメン家族 ～生涯現役！84歳の青春～	IBC 岩手放送
437	8月 9日(土)	見えない世界を変える ～視覚障がい者とつくる新たな未来～	西日本放送
438	8月16日(土)	ありのまま輝くブレイキン ～個性を強さに変えて生きる～	静岡放送
439	8月23日(土)	教えて！能登デスクさん ～Not デスクな観光案内～	北陸放送
440	8月30日(土)	ふたりの転校生 ～島根発！落語とドキドキ新生活～	日本海テレビ
441	9月 6日(土)	薫さん 101歳 ～くよくよせず、笑って生きる～	朝日放送テレビ
442	9月13日(土)	海を ^か ける希望の波 ～復活！国内唯一 ホーバークラフト～	大分放送
443	9月20日(土)	ウィッグ・ ^{しじゅう} 刺繍・医療支援 ～看護師の不思議な生き方～	RKB 毎日放送
444	9月27日(土)	左手のフルート奏者 ～いのちと対話の響き～	北海道放送
445	10月 4日(土)	育休・大型連休あります ～山梨発！くだもの生産法人の農業改革～	山梨放送
446	10月11日(土)	ふくらめ、アイデア！～空気のチカラで届ける笑顔～	宮崎放送
447	10月18日(土)	笑顔かがやく農場 ～未来をつなぐ若き集団～	メ～テレ
448	10月25日(土)	風になりたい～違いが奏でるハーモニー	南海放送
449	11月 1日(土)	マーサの笑顔ファクトリー ～沖縄発！ママたちの自立を紡ぐ～	沖縄テレビ
450	11月 8日(土)	げんじいの手作り牧場 ～ヤギと紡ぐ第二の人生～	北日本放送
451	11月15日(土)	甘い魔法にかかったボク ～老舗人形店 若き四代目～	四国放送
452	11月22日(土)	結いの手仕事 ^{おひまづむぎ} ～大島紬の未来～	南日本放送
453	11月29日(土)	いっしょに歩こう ～老犬介護の現場から～	秋田放送
454	12月 6日(土)	YUNAの青春 ～盲目のシンガー～	長崎放送
455	12月13日(土)	まきうち夫婦の全力人生 ～山のスーパー繁盛記～	静岡放送
456	12月20日(土)	バスケットボールがくれた未来 ～障がいと歩む私の一歩～	山口放送
457	1月10日(土)	師匠と弟子 伝統をつなぐ。～大堀相馬焼 荒野からの再始動～	福島テレビ
458	1月17日(土)	^{つる} 敦ガチャの仲間たち ～作って回してつながる社会～	福井放送
459	1月24日(土)	「鶴」ヒロシマから旧ソ連の反戦歌	中国放送
460	1月31日(土)	マイ・ホーム ～やりなおしの家～	熊本放送
461	2月 7日(土)	いのち育む ～産声を守る助産師たち～	南日本放送
462	2月14日(土)	俺、すいかばか ～家族が支える頑固オヤジ～	山梨放送

「日本のチカラ」は以下の地上波、BSの各放送局でもご覧いただけます。

- BS 朝日 毎週金曜日 5:25～ ■ 群馬テレビ 毎週土曜日13:30～(日曜日再放送)
 ■ TOKYO MX 毎週土曜日 27:30～ ※番組編成は変更する場合がございますのでご了承願います。

第61回 テレビのチカラ全国大会 2025大分

2025年11月1日(土) iichiko総合文化センター

主管局：大分放送



全国大会

大会テーマ



スポーツが紡ぐ、
ともに生きる未来



サッカー、野球、自転車競技、フットサルと様々なプロスポーツチームを有する大分県。また、別府市の「太陽の家」に象徴されるように、障がい者支援や社会参加の先進地であることから、今回の大会は「スポーツが紡ぐ、ともに生きる未来」と題し、共生社会のあり方をテーマに掲げました。

第一部のトークセッションでは、大分出身の元プロ野球選手で野球解説者の内川聖一さんをゲストにお招きして、プロスポーツを通じた地域活性化についてお話を伺いました。内川さんは、宮崎県で多くのプロ野球チームがキャンプを実施する理由として充実した練習設備があると具体例を挙げ、プロスポーツが地域に根差し、地域活性化につながるには環境整備が必要だと説明しました。またプロ選手になるためには、自分が立てた目標に向かって今やれることがあるはずだと常に考えて行動することが大切だと語りました。会場には野球部の高校生も来場していて、参考になったのではないかと思います。

第2部のパネルディスカッションでは、内川さんに加えて、音楽ユニット globe のマーク・パンサーさん、関東パラ陸上競技協会理事長の花岡伸和さん、大分国際車いすマラソンで通訳を務める衛藤千乃さんがパラスポーツと地域のあり方などについて意見を交わしました。この中で、パラスポーツと健常者スポーツの垣根を取り払うため、また、見る人の意識の変革に向けて「競技中、頑張れだけではなく選手に野次が飛んでもいい」「パラスポーツ選手が芸能事務所に所属してプロデュースしてもらってもいいのでは」「学校の体育にパラスポーツ競技を取り入れてみる」といった提言が行われるなど、活発な議論となりました。

テレビ編成部長 神崎 正哉



プログラム

▶司会
村津 孝仁・甲斐 蓉子（大分放送アナウンサー）

●オープニングアトラクション
津久見檜の実少年少女合唱団

第1部 トークセッション

「プロスポーツを通じた地域活性化」
内川 聖一（元プロ野球選手・野球解説者）
▶聞き手 三重野 勝己（大分放送アナウンサー）

●アトラクション
日本文理大学チアリーディング部
“BRAVES” パフォーマンス

第2部 パネルディスカッション

「スポーツが紡ぐ、ともに生きる未来」
▶パネリスト
内川 聖一
マーク・パンサー（音楽ユニット・globe メンバー）
花岡 伸和（関東パラ陸上競技協会 理事長）
衛藤 千乃（大分国際車いすマラソン大会 通訳ボランティア）
▶進行
三重野 勝己（大分放送アナウンサー）

テレビのチカラ 北海道・東北・関東・甲信越地区大会 2025山梨

2025年9月27日(土) YCC県民文化ホール

主管局：山梨放送



地区大会

山梨大会

大会テーマ



豊かな環境を次世代へ
～やまなし発！水素のチカラ～



山梨発の「水素エネルギー」ってご存じですか？水素エネルギーでカーボンニュートラルをリードしようと、山梨県では行政・研究者・民間企業が一体となって、さまざまな挑戦を行っています。本大会では、水素エネルギーの現状と課題について理解を深め、山梨発の脱炭素への取り組みの意義や日本のエネルギーの未来を考えようと、「豊かな環境を次世代へ～やまなし発！水素のチカラ～」をテーマとしました。

基調講演では、水素燃料電池車の開発や東京五輪での水素燃料を使用した聖火台プロジェクトの責任者を務めた小島康一さんが、水素の可能性や未来についてわかりやすく説明しました。続いてのパネルディスカッションでは、「羽鳥慎一モーニングショー」でレギュラーコメンテーターを務める玉川徹さんがインタビュアーとなり、専門家の皆さんに「なぜ水素なのか？」「電気で水素を作るのは非効率ではないか？」と鋭い質問を投げかけました。台本通りに進まない予想外の展開に会場は盛り上がり、パネリストの皆さんも来場者に理解してもらえよう丁寧に解説を行いました。また、会場を巻き込んだりしながら、水素の安全性や普及の見通しなどに関する疑問を解きほぐしていきました。

会場には高校生から高齢者まで幅広い世代の方々が来場してくださりました。水素燃料電池で走る自動車やドローンの展示、水素を燃焼して焙煎したコーヒーの試飲コーナーなども設け、来場者の皆さんに「水素」を学ぶだけでなく体験してもらい、より身近に感じていただくことができました。

審議室長 井上 進治



大会の様子はこちらの動画でご覧いただけます



プログラム

▶司会・進行

櫻井 和明・水越 千尋（山梨放送アナウンサー）

●オープニングアクト

和太鼓ユニット阿羅漢と山梨の子どもたち

第1部 基調講演

「水素の可能性 水素が描く未来について」

小島 康一（技術研究組合 FC-Cubic 専務理事）

第2部 パネルディスカッション

「知ろう！水素エネルギーのある明日 やまなしの挑戦」

▶インタビュアー

玉川 徹（羽鳥慎一モーニングショー レギュラーコメンテーター）

▶パネリスト

小島 康一（技術研究組合 FC-Cubic 専務理事）

飯山 明裕（山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター長）

中澤 宏樹（株式会社やまなしハイドロジェンカンパニー社長）

下野 晋平（サントリー HD 株式会社 サステナビリティ経営推進本部
新規事業推進グループ 部長）

テレビのチカラ 中部・北陸・関西・中国地区大会 2025石川

2025年10月11日(土) 北國新聞赤羽ホール

主管局：北陸放送



地区大会
石川大会

大会テーマ



みんなのチカラ
明日への一歩



能登半島地震から1年9か月が経過した中で、被災地石川県での地区大会を迎えることになりました。大会テーマを「みんなのチカラ、明日への一歩」としたのは、被災地の皆さんが我慢強く一步一步、歩みを進めていることに対し、「もっと応援するメッセージを送りたい」という思いからでした。

大会は、被災のハンディを乗り越え活動続ける輪島市の和太鼓グループ「虎之介」のパフォーマンスで幕を開けました。第1部のトークセッションには、ゲストに情報番組「ひるおび」などでおなじみの恵俊彰さんをお迎えし、恵さんが座右の銘とする、松尾芭蕉の「不易流行」をテーマにトークが展開されました。10年前から名言ノートを作り、気になったことを全部メモに残すようにしているという恵さん。直近でメモを取ったのが、ノーベル賞を受賞した坂口志文さんの「ひとつ、ひとつ」という言葉だといいます。復興元年の石川県にあって、この「ひとつ、ひとつ」という言葉を大切にしていきたいという、恵さんの姿が今も強く印象に残っています。

第2部のパネルディスカッションでは、震災と豪雨の二重被害を受けつつも地域の拠点となるスーパーを経営する輪島市の本谷一知さん、北陸3県の研究者によるスタートアップ創出を支援する金沢大学特任准教授の佐々木淑貴さん、加賀市で長年子育て支援事業に参画する山口美幸さんの3名に恵さんが加わり、大会テーマの「明日への一歩」について、それぞれの立場から熱い議論を交わしました。この大会の開催が、真の復興に向けて、「変えなければならないものは何か、変わってはいけないものは何か」を真摯に考える機会になれば幸いです。

編成業務局次長 岡村 大作



プログラム

●オープニングアクト

輪島・和太鼓 虎之介 「御陣乗太鼓」パフォーマンス

第1部 トークセッション

「不易流行 ～変わらないもの変わっていくもの～」

恵 俊彰（俳優・タレント）

▶聞き手

松村 玲郎（北陸放送アナウンサー）

●パフォーマンス

遊学館高等学校 バトントワリング部

第2部 パネルディスカッション

「みんなのチカラ ～明日への一歩～」

▶パネリスト

恵 俊彰

本谷 一知（有限会社もとや庄治商店 代表取締役社長）

佐々木 淑貴（金沢大学特任准教授・

TeSH スタートアップ コーディネーター）

山口 美幸（公益財団法人あくるめ 代表理事）

▶コーディネーター

松村 玲郎（北陸放送アナウンサー）

テレビのチカラ 四国・九州・沖縄地区大会 2025愛媛

2025年10月25日(土) 南海放送テルスターホール

主管局：南海放送



地区大会
愛媛大会

大会テーマ

みんなを幸せにする
ことばのチカラ



正岡子規や高浜虚子ら俳人や、夏目漱石ら文学の先人たちが暮らし、豊かな言葉を育んだ愛媛県松山市にて、10年ぶりに地区大会が開催されました。

大会は、愛媛県出身のシンガーソングライター・ちゃんゆ胃さんのミニライブで幕を開けました。続く第一部では、テレビ番組「プレバト!!」等を通じて全国で「俳句の種蒔き」を続けている夏井いつきさんによる基調講演「俳句で培うことばのチカラ」が行われました。夏井さんは、笑いと涙を交えた多彩な体験談を披露され、俳句を「より良い社会を築くための社会貢献活動」とであると定義されました。俳句を通じて「ことば」を育て、ひいては人の心を耕すことが、社会を良くする小さな運動に繋がると締めくくられました。

第二部では、夏井さんに加え、直木賞作家の今村翔吾さん、元NHKエグゼクティブプロデューサーの菅康弘さん、そしてちゃんゆ胃さんをパネリストに迎え、「みんなを幸せにすることばのチカラ」というテーマで討論が行われました。この討論を通じ、「ことば」は単なる自己表現の手段にとどまらず、生命を維持するためのコミュニケーションツールであり、時には人生の方向性を左右する「縁」を生むほどの強い力を持つことが示されました。さらに、「ことばのチカラ」は発信者の生き様や人格そのものに根差しており、「誰が語るか」によってその響きは大きく変わるという点についても議論が深まりました。

来場した約300名の観客にとって、本大会は「ことば」が持つ無限の可能性を強く実感する貴重な機会となりました。

メディア編成局 局次長 兼 テレビ編成部長 脇本 周一



プログラム

▶司会進行
佐伯 りさ・岡内 ひかり（南海放送アナウンサー）

●オープニング
ちゃんゆ胃（シンガーソングライター）ミニライブ

第1部 基調講演
「俳句で培う ことばのチカラ」

▶講師
夏井 いつき（俳人）

第2部 パネルディスカッション
「みんなを幸せにする ことばのチカラ」

▶パネリスト
夏井 いつき
今村 翔吾（作家）
菅 康弘（坂の上の雲ミュージアム 総館長）
ちゃんゆ胃（シンガーソングライター）

▶コーディネーター
田中 和彦（南海放送会長）



IBC 岩手放送



新潟放送



テレビ朝日



東北放送



山梨放送

文部科学省後援

小学校授業支援事業

小学校授業支援事業は、「未来を担う子どもたちの育成事業」として2009年度にスタートしたもので、2011年度からは文部科学省後援の事業となっています。加盟各社が地域の小学校の協力を得て、授業のカリキュラムとして組み込む中で行う子どもたちに向けたメディアリテラシー教育を行うものです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度から3年間実施できませんでしたが、2023年度より再開させていただきました。民間放送教育協会が制作した動画「ニュースができるまで」を小学生に視聴してもらい、その後に実施局の担当者が授業を展開する形式や、テレビ局見学と同時にやる形式など、加盟各局が趣向をこらして授業を展開しております。2025年度は過去最多の19局が実施いたしました。

動画「ニュースができるまで」



2025年度 「小学校授業支援事業」 実施局（19局）

北海道放送

青森放送

IBC岩手放送

東北放送

新潟放送

信越放送

山梨放送

テレビ朝日

静岡放送

メ〜テレ

山陰放送

山口放送

四国放送

南海放送

高知放送

RKB毎日放送

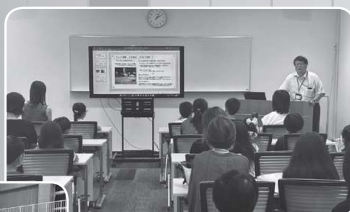
宮崎放送

南日本放送

琉球放送



静岡放送



宮崎放送



メ〜テレ



高知放送



琉球放送



北海道放送

福島テレビ

信越放送

北日本放送

朝日放送テレビ

文部科学省後援

読み聞かせ事業

公益財団法人 民間放送教育協会では、2011 年度より、「子ども未来プロジェクト」の一事業として、加盟する放送局の協力を得て、「読み聞かせ事業」を実施しております。

この事業は、2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災により、被災地のみならず、その他の地域の子どもたちも緊張や不安が高まり、心に傷を受けていたことをきっかけに、放送事業者として心のケアにどう取り組んでいけるのかを加盟各局で検討してスタートしたものです。今年度も、文部科学省後援の事業となっております。

放送局の持っているリソースを生かしアナウンサー等による本や絵本の対面での読み聞かせはもちろん、コロナ禍以降はオンラインを活用したりリモート読み聞かせ、読み聞かせ番組の Web 配信など、加盟各局が工夫を凝らすことで継続しております。2025 年度は過去最多の 32 局が実施いたしました。

今後も、放送事業者としての特性を生かし、多くの地域で「読み聞かせ事業」を継続していきたいと考えています。

2025年度 「読み聞かせ事業」実施局（32局）

北海道放送	青森放送	IBC岩手放送	秋田放送	山形放送	東北放送
福島テレビ	新潟放送	信越放送	山梨放送	北日本放送	北陸放送
福井放送	静岡放送	メ〜テレ	朝日放送テレビ	日本海テレビ	山陰放送
中国放送	山口放送	西日本放送	四国放送	南海放送	高知放送
RKB毎日放送	長崎放送	大分放送	熊本放送	宮崎放送	南日本放送
沖縄テレビ放送	琉球放送				



四国放送



大分放送



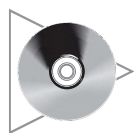
南日本放送



長崎放送



熊本放送



学校教育・生涯学習に 番組DVDの貸し出しをご活用ください。

民間放送教育協会では、番組を使って授業を行う場合に番組DVDの貸出を行っております。
2025年度は12作品が合計15回、貸し出されました。

貸出件数	15回	貸出作品	12作品	発見！人間力	2作品
				日本！食紀行	1作品
視聴人数	890人			日本のチカラ	5作品
				民教協スペシャル	4作品

複数回の貸し出しがあった人気作品は以下の通りです。

貸出回数	作 品 名	目 的（抜粋）
4回	第26回 民教協スペシャル 「生きることを選んで」	看護学生の実習にて、神経難病患者の理解について使用する 地域で暮らすALS患者の理解のため 神経難病患者を対象とした実習の導入・対象理解 看護学生の実習の導入・対象の理解（神経難病患者を対象とした実習）



小・中学校での道徳の授業や修学旅行の事前学習、大学や高等学校、看護学校においての講義内での視聴など、学校や教育・研究機関、福祉団体などの非営利の団体の皆様に、番組をご活用いただいております。

貸し出し作品は、「日本のチカラ」・「日本！食紀行」・「学びEye!」・「発見！人間力」・「民教協スペシャル」です。
貸し出し方法、番組の内容は当協会ホームページ「番組貸し出し」をご覧ください。

（注）貸し出しは著作権の範囲内で行っています。



番組トピックス

「日本のチカラ」「民教協スペシャル」といった民教協の番組をベースにした各局のドキュメンタリーが、本年度も数々の賞を受賞しました。



「時給 10 円という現実 ～消えゆく農民～」

制作：山形放送

- ・第 62 回ギャラクシー賞 奨励賞
- ・2025 年 日本民間放送連盟賞（テレビ報道）優秀賞
- ・2025 年 日本民間放送連盟賞（ラジオ報道）優秀賞

「障がい者のきょうだい ～心の重荷をおろして～」

制作：RKB 毎日放送

- ・2025 年 日本民間放送連盟賞（ラジオ教養）優秀賞



「笑って生きる一生 ～私が生きる場所～」

制作：静岡放送

- ・2025 年 日本民間放送連盟賞（テレビ教養）優秀賞

2026 年度 公益財団法人 民間放送教育協会 理事・監事・評議員名簿

2026 年 3 月 31 日現在（敬称略）

理 事（19 名）			
会 長	吉永 みち子		ノンフィクション作家
副 会 長	佐藤 隆夫	（株）新潟放送	取締役会長
理 事 長	堀江 隆	（株）テレビ朝日	常務取締役
常 務 理 事	佐々木 克己	（株）テレビ朝日	常務取締役
理 事	板垣 正義	山形放送（株）	代表取締役社長
	猪俣 知三	（株）大分放送	代表取締役社長
	今村 俊昭	朝日放送テレビ（株）	代表取締役社長
	大島 新		ドキュメンタリー監督
	大西 康司	南海放送（株）	代表取締役社長
	鎌田 英樹	（株）アイビーシー岩手放送	代表取締役会長
	坂口 吉平	（株）山陰放送	代表取締役社長
	坂口 洋一郎	（株）熊本放送	代表取締役社長
	高田 坦史	（一社）日本中小企業経営支援専門家協会	代表理事
	谷澤 良治	（株）電通	ラジオテレビ局 局長
	中村 一彦	琉球放送（株）	代表取締役社長
	野口 英一	（株）山梨放送	代表取締役社長
	広瀬 尚人	（株）博報堂	テレビラジオビジネス局 局長
	山崎 由幸	（株）高知放送	代表取締役社長
	横山 淳	福島テレビ（株）	代表取締役会長

監 事（2 名）			
	島谷 浩司	北日本放送（株）	代表取締役社長
	安部 孝志	（株）テレビ朝日	ネットワーク局長

評議員（17 名）			
	東 晋	長崎放送（株）	代表取締役社長
	音 好宏	上智大学	教授
	勝田 直樹	北海道放送（株）	代表取締役社長
	小松 良徳	日本海テレビジョン放送（株）	代表取締役社長
	境 真理子		ジャーナリスト
	坂元 章	お茶の水女子大学	理事・副学長
	清水 伸司	名古屋テレビ放送（株）	代表取締役社長
	中村 卓朗	西日本放送（株）	代表取締役社長
	丹羽 美之	東京大学大学院	教授
	林 延吉	山口放送（株）	代表取締役社長
	星野 博美		ノンフィクション作家
	堀木 卓也	（一社）日本民間放送連盟	専務理事
	宮川 正	（独法）中小企業基盤整備機構	理事長
	宮迫 良己	（株）中国放送	代表取締役社長
	森 達也		映画監督
	若松 仁嗣	（一社）全国農業協同組合中央会	常務理事
	渡辺 雅義	信越放送（株）	代表取締役社長

2025 年度 民間放送教育協会の主な活動

2025 年 令和 7 年	4 月	19 日	2025 年度「日本のチカラ」放送開始
		21 日	日本のチカラ 2025 年度第 3 回ブラッシュアップ会議（信越放送・山形放送・大分放送）
	5 月	19 日	日本のチカラ 2025 年度第 4 回ブラッシュアップ会議（青森放送・RKB 毎日放送・山陰放送・東北放送）
		21 日	第 136 回理事会
	6 月	12 日	第 122 回評議員会
			第 137 回理事会（書面決議）
		16 日	日本のチカラ 2025 年度第 5 回ブラッシュアップ会議（IBC 岩手放送・西日本放送・静岡放送・北陸放送）
	7 月	22 日	日本のチカラ 2025 年度第 6 回ブラッシュアップ会議（大分放送・RKB 毎日放送・日本海テレビ・朝日放送テレビ）
	8 月	18 日	日本のチカラ 2025 年度第 7 回ブラッシュアップ会議（山梨放送・メ〜テレ・北海道放送・宮崎放送）
	9 月	8 日	日本のチカラ 2025 年度第 8 回ブラッシュアップ会議（沖縄テレビ・南海放送・北日本放送・四国放送・長崎放送）
		26 日	日本のチカラ 2025 年度番組選奨 上期評価会議
		27 日	「テレビのチカラ北海道・東北・関東・甲信越地区大会 2025 山梨」（主管：山梨放送）
	10 月	6 日	日本のチカラ 2025 年度第 9 回ブラッシュアップ会議（南日本放送・秋田放送・静岡放送・山口放送）
		11 日	「テレビのチカラ中部・北陸・関西・中国地区大会 2025 石川」（主管：北陸放送）
		25 日	「テレビのチカラ四国・九州・沖縄地区大会 2025 愛媛」（主管：南海放送）
		31 日	2024 年度「日本のチカラ」番組選奨 表彰式（ホテル日航大分オアシスタワー 5 階「孔雀」）
	11 月	1 日	「吉永会長を囲む制作勉強会」（iichiko 総合文化センター 4 階「小会議室 2」）
			「第 61 回テレビのチカラ全国大会 2025 大分」（主管：大分放送）
		17 日	日本のチカラ 2025 年度第 10 回ブラッシュアップ会議（福井放送・福島テレビ・中国放送）
	12 月	8 日	制作責任者総会
		15 日	日本のチカラ 2025 年度第 11 回ブラッシュアップ会議（熊本放送・南日本放送・山梨放送）

2026 年 令和 8 年	1 月	13 日	第 40 回民教協スペシャル 完成試写会
		22 日	東京支社連絡担当者会議
	2 月	3 日	日本のチカラ 2025 年度番組選奨 下期評価会議
		7 日	第 40 回民教協スペシャル「あなたを忘れない～朝鮮からの満州移民～」（制作：信越放送）放送
		9 日	日本のチカラ 2026 年度第 1 回ブラッシュアップ会議（テレビ朝日・琉球放送・IBC 岩手放送）
		17 日	東京支社長会議
		20 日	第 41 回民教協スペシャル 一次審査会議
		26 日	第 138 回理事会
	3 月	5 日	日本のチカラ 2025 年度番組選奨 選考会議
		9 日	日本のチカラ 2026 年度第 2 回ブラッシュアップ会議（山形放送・山梨放送・大分放送・新潟放送）
		18 日	第 123 回評議員会
		27 日	第 41 回民教協スペシャル 二次審査会議



民教協ネットワーク

民間放送教育協会
加盟33社

全国33局ネット

北海道・東北・ 関東・甲信越地区

北海道放送	HBC
青森放送	RAB
IBC岩手放送	IBC
秋田放送	ABS
山形放送	YBC
東北放送	TBC
福島テレビ	FTV
新潟放送	BSN
信越放送	SBC
山梨放送	YBS
テレビ朝日	EX

中部・北陸・ 関西・中国地区

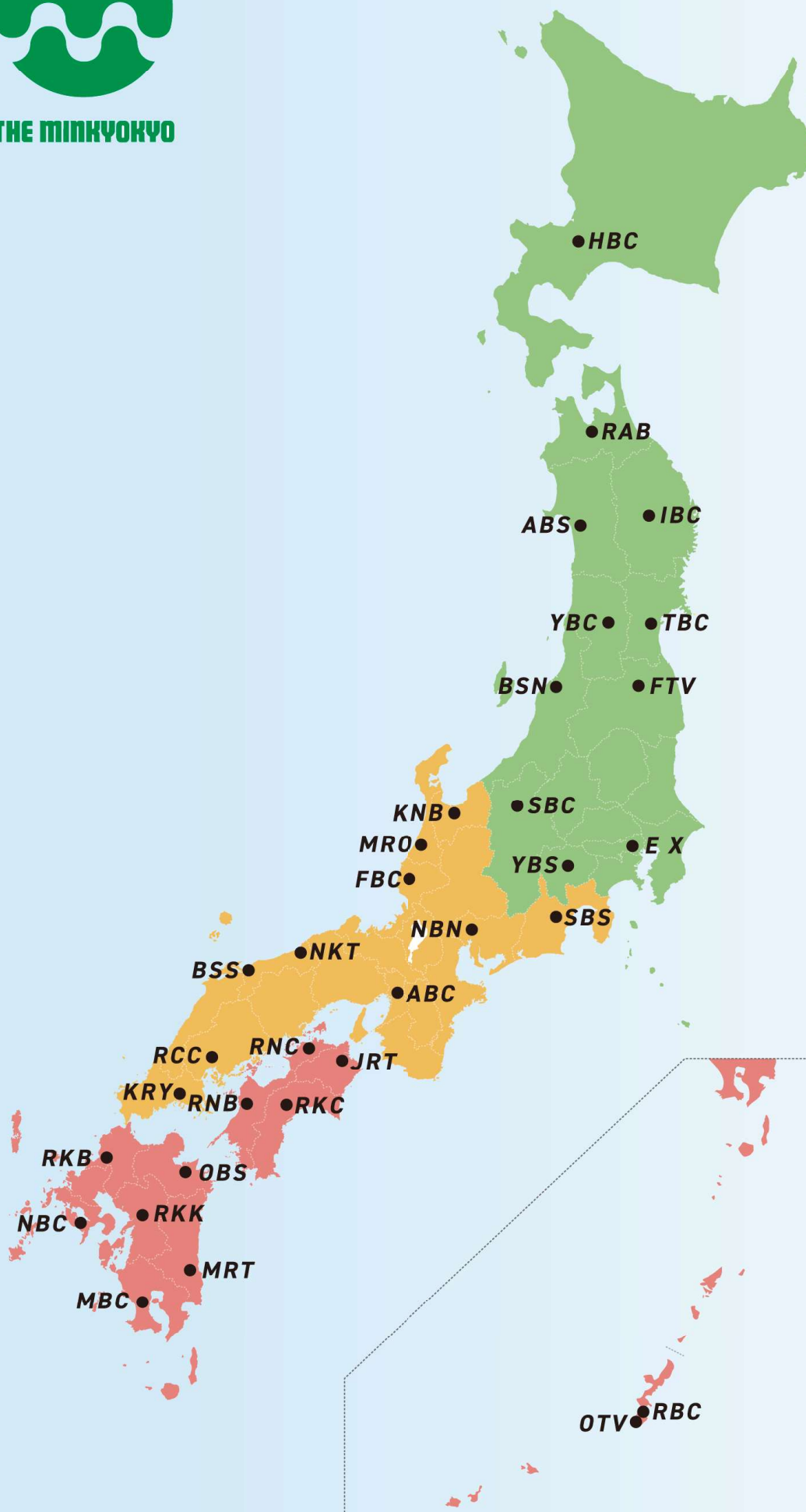
北日本放送	KNB
北陸放送	MRO
福井放送	FBC
静岡放送	SBS
メ〜テレ	NBN
朝日放送テレビ	ABC
日本海テレビ	NKT
山陰放送	BSS
中国放送	RCC
山口放送	KRY

四国・九州・ 沖縄地区

西日本放送	RNC
四国放送	JRT
南海放送	RNB
高知放送	RKC
RKB毎日放送	RKB
長崎放送	NBC
大分放送	OBS
熊本放送	RKK
宮崎放送	MRT
南日本放送	MBC
沖縄テレビ放送	OTV
琉球放送	RBC

賛助会員

日本国際放送	JIB
--------	-----





<https://www.minkyō.or.jp/>

公益財団法人 民間放送教育協会

〒106-8001 東京都港区六本木 6-9-1 TEL：03-6406-2171